

「年金の日」の取組について

○ 年金の日フォーラム・大臣表彰式（別添・チラシ）

- 1 日 時 11月30日（日） 13:00 ～ 15:30
- 2 場 所 東商ホール（千代田区丸ノ内3-2-2）
- 3 プログラム
 - (1) 「わたしと年金」エッセイ厚生労働大臣表彰式
 - (2) 年金シンポジウム ～「年金の日」に考える年金のいまとこれから～
 - (3) 年金落語（柳家さん八師匠）

○ 民間との協働イベント

- ・ 「年金の日」賛同団体やその会員等（銀行・生保・損保・信金・信組、金庫等）が行う年金相談会や年金セミナー等において、「年金の日」や「ねんきんネット」の周知を実施。
- ・ 各団体独自のセミナー、講座、研修会、大会等、又は各機関等の店頭や窓口等において、「ねんきんネット」等の周知を実施。
- ・ 全国18都府県の社会保険労務士会では、「年金の日」にちなんだ無料年金相談会を実施。
- ・ ゆうちょ銀行（12店舗）、香川銀行、徳島銀行が行う年金セミナーでは、日本年金機構職員を派遣した協働イベントを実施。
- ・ 金融広報中央委員会では、同委員会の「知るぽると」ホームページにおいて「ねんきんネット」との相互リンクを開始。
- ・ 日本生命では、営業職員（約5万人）が「ご存じですか？この日なんの日？」と題するビラとともに「ねんきんネット」のリーフレットを配付し、案内活動を実施。あわせて、ライフプラザ（来店型店舗）や取引先企業での年金セミナー等を実施。
- ・ JA共済では、11月1日の朝日新聞・日本農業新聞（朝刊）に「11月は“いい将来”月間です。」と題し、「介護の日」及び「年金の日」を紹介する広告を掲載。11月30日の「年金の日」当日も、「年金の日」を紹介する広告を掲載する予定。
- ・ 国民年金基金連合会では、国民年金基金制度のご案内のダイレクトメールの封筒に「11月30日は年金の日です」と入れて周知を実施。
- ・ 全国信用金庫協会では、機関誌「信用金庫」11月号において、「年金の日」の制定とその取組を紹介する記事を掲載。
- ・ 年金シニアプラン総合研究機構では、本日、賛助会員向けに「年金の日」にちなんだ特別講演会を開催。

○ 日本年金機構における取組

・「年金の日」における休日年金相談等

「年金の日」当日（11月30日（日））は、全国の年金事務所・街角の年金相談センター（一部を除く）で休日年金相談を実施するとともに、「ねんきんダイヤル」・「ねんきん定期便・ねんきんネット等専用ダイヤル」で電話相談を実施。

・「ねんきんダイヤル」等の携帯電話からの通話料の引下げ

「ねんきんダイヤル」・「ねんきん定期便・ねんきんネット等専用ダイヤル」（ナビダイヤル）の携帯電話からの通話料金を「年金の日」の前後1週間（11/25（火）～12/5（金））引き下げ（通常全額お客様負担→市内通話料金相当額のみお客様負担）

※ 一般の固定電話からは、既に全国どこからでも市内通話料金で利用可能。

・「ねんきん月間」の取組

- ・ 高校、大学等で、生徒学生を対象とした年金セミナー等を実施。
- ・ 大型商業施設、百貨店、スーパー等で、出張相談や国民年金保険料の納付相談、ねんきんネット体験等を実施。
- ・ 自治体、公共施設、ハローワーク等で、出張相談等を実施。
- ・ 企業、団体等で年金制度説明会等を実施。
- ・ けんぽ協会と共催で、年金委員・健康保険委員の研修会等を実施。
- ・ その他、ミニFM放送で年金制度の周知番組を放送等。

○ その他

・インターネット広告・新聞突出広告

「年金の日」や「ねんきんネット」の利用促進に関するインターネットバナー広告（11/21～30 「Yahoo! JAPAN」ほか）や新聞突出広告（11/27又は28 全国紙・ブロック紙朝刊）を実施。

【「年金の日」賛同団体等（27団体等、順不同）】

企業年金連合会、国民年金基金連合会、全国社会保険労務士会連合会
金融広報中央委員会、全国銀行協会、全国地方銀行協会、信託協会、第二地方銀行協会、
全国信用金庫協会、全国信用組合中央協会、全国労働金庫協会、生命保険協会、
生命保険文化センター、日本損害保険協会、日本ファイナンシャル・プランナーズ協会、
ＪＡ全中、ＪＦ全漁連、ＪＡバンク・ＪＦマリンバンク、ＪＡ共済、
株式会社商工組合中央金庫、株式会社ゆうちょ銀行、日本郵便株式会社
全国社会保険協会連合会、全国年金受給者団体連合会、年金シニアプラン総合研究機構、
年金・福祉推進協議会、全国社会保険委員会連合会（__は、新たに賛同いただいた5団体）

年金の日フォーラム

- ◆ 日時 平成26年11月30日(日)
13:00～15:30(受付開始12:15)
- ◆ 場所 東商ホール(東京商工会議所4階)
東京都千代田区丸の内3-2-2
- ◆ 定員 先着 550名

入場無料

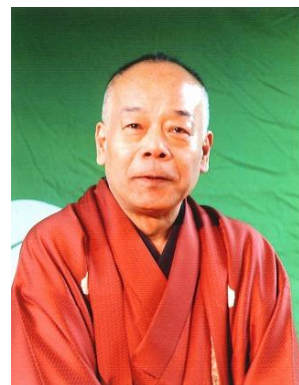
いい みらい

11月30日は
「年金の日」

「ねんきんネット」で
未来の生活設計について
考えてみませんか？

フォーラムの内容

- 年金シンポジウム ～「年金の日」に考える年金のいまとこれから～
〔メンバー〕
- ・ 神野 直彦 (社会保障審議会年金部会長、東京大学名誉教授)
 - ・ 原 佳奈子 (社会保障審議会年金部会委員、
株式会社TIMコンサルティング取締役)
 - ・ 山崎 俊輔 (フィナンシャル・ウィズダム代表)
 - ・ 山崎 伸彦 (厚生労働省大臣官房審議官(年金担当))
- 柳家さん八師匠による「年金落語」
- 「わたしと年金」エッセイ厚生労働大臣表彰式



柳家 さん八師匠

プログラム

- 13:00 開会あいさつ(塩崎厚生労働大臣)
13:05 「わたしと年金」エッセイ厚生労働大臣表彰式
13:20 年金シンポジウム ～「年金の日」に考える年金のいまとこれから～
14:50 休憩
15:00 年金落語 (15:30 終了予定)

◆ お申し込み方法 (次のいずれかの方法をお願いします。)

- ◇ 当フォーラムに参加ご希望の方は、裏面の申込用紙に必要事項を記入のうえ、FAXにてお送りください。
- ◇ 10月31日からは、ホームページからお申し込みいただけます。
<http://www.hip-ltd.co.jp/nenkinnohi/>

※ お申込み完了後に、参加証をE-mail、またはFAXでお送りいたします。

※ 定員になり次第、締切とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

■ 主催



厚生労働省

Ministry of Health, Labour and Welfare

年金落語

やなぎや さんばち

噺家 柳家さん八 (社団法人落語協会会員)

<プロフィール>

1944年 東京は下町江戸川区平井の生まれ。東京大空襲に罹災し九死に一生を得る後、小松川・小岩で育ち、ベイエリア南葛西に在住。江戸っ子と言うよりも生粋の「江戸川っ子」である。都立の工業高校機械科を卒業し凸版印刷に入社するも3年程勤務の後、脱サラを決意、親の反対を振り切って噺家の道へ。

1966年 5代目柳家小さん入門し見習い修業(芸名・そう助)

1968年 落語協会に正式加入 前座となる

1971年 二つ目に昇進 2代目柳家さん八を名乗る

1980年 第1回真打認定試験に合格

1981年 9月晴れて真打に昇進し各席で披露興行

国立(こくりつ)演芸場花形新人落語会・金賞を受賞

2001年 社団法人落語協会理事付き役員に就任

2006年 社団法人落語協会監事に就任

古典落語の中でも「滑稽ばなし」を主に演じ、都内はもとより、学校寄席地域寄席等で全国を巡演している。落語以外の世相批評(岡目八目)も好評であり得意としている。師匠・柳家小さん(範士7段)の指導で剣道3段、日本酒はしご段、スキー・ゴルフは万年ビギナーで、読売巨人軍一辺倒のスーパー真面目人間。

◆主な演目 古典落語の他、現代物として「当世結婚式事情」「天皇と師匠」「我家と年金」「東京大空襲夜話」等。
出囃子・東雲節

会場への交通アクセス



<地下鉄の場合>

- 都営三田線 日比谷駅より徒歩2分
- 千代田線 二重橋前駅より徒歩2分
- 日比谷線 日比谷駅より徒歩8分
- 有楽町線 有楽町駅より徒歩3分
- 丸の内線 東京駅より徒歩10分

※三田線、千代田線、日比谷線、有楽町線はB7出口が便利です。

<JRの場合>

- JR有楽町駅 国際フォーラム口より徒歩5分
- JR東京駅 丸の内南口より徒歩10分

参加申込書

「年金の日フォーラム」 <開催日:平成26年11月30日(日)>

(フリガナ) 氏 名	年齢	性別
連絡先 (勤務先・所属団体等)	勤務先(団体名): 住 所:(〒 —) 電話: — — FAX番号: — —	
年金について、ご意見・ご質問がございましたら、ご自由に記載してください。	(いただいたご意見等は、お名前等を伏せた上でシンポジウムにおいて、ご紹介させていただくことがあります。)	

注:ご記入いただいた勤務先や個人情報、主催者(厚生労働省)および事務局で適切に管理いたします。
当シンポジウムに係る連絡のみに利用し、皆様のご承諾なく第三者に提供いたしません。

➤ FAXでお申し込みされる場合は、以下番号へお願いいたします。

送信先FAX番号 03-3370-2017

(「年金の日フォーラム」参加申込事務局)

受付番号